

中小企業信用保険法第2条第5項第7号の規定による認定申請書

令和 年 月 日

那珂市長 様

住所  
申請者 氏名(会社名) 印  
電話番号

私は、\_\_\_\_\_が経営の相当程度の合理化に伴う金融取引の調整を行っていることにより、下記のとおり、借入れの減少が生じ、経営の安定に支障が生じておりますので、中小企業信用保険法第2条第5項第7号の規定に基づき認定されるようお願いいたします。

記

1. 金融機関からの総借入金残高のうち、\_\_\_\_\_からの借入金残高の占める割合  
\_\_\_\_\_ % (A/B)
- A 年 月 日の \_\_\_\_\_からの借入金残高 \_\_\_\_\_ 円
- B 年 月 日の金融機関からの総借入金残高 \_\_\_\_\_ 円
2. \_\_\_\_\_からの借入金残高の減少率 \_\_\_\_\_ % ((D-C)/D × 100)
- C 年 月 日の \_\_\_\_\_からの借入金残高 \_\_\_\_\_ 円
- D 年 月 日(Cの前年同期を記入のこと)の \_\_\_\_\_からの借入金残高 \_\_\_\_\_ 円
3. 金融機関からの総借入金残高の減少率 \_\_\_\_\_ % ((F-E)/F × 100)
- E 年 月 日の金融機関からの総借入金残高 \_\_\_\_\_ 円
- F 年 月 日(Eの前年同期を記入のこと)の金融機関からの総借入金残高 \_\_\_\_\_ 円

那商第 号

令和 年 月 日

申請のとおり、相違ないことを認定します。

那珂市長 先崎 光 印

(注) 本認定書の有効期間：令和 年 月 日から令和 年 月 日まで

(留意事項) ①本認定とは別に、金融機関及び信用保証協会による金融上の審査があります。

②市長から認定を受けた後、本認定の有効期間内に金融機関又は信用保証協会に対して、経営安定関連保証の申込を行うことが必要です。

様式第7 (記入例)

中小企業信用保険法第2条第5項第7号の規定による認定申請書 (例)

令和1年 5月 1日

那珂市長 様

住所 那珂市福田1819番地5  
申請者氏名(会社名) 株式会社 ○ ○ 商事 印  
代表取締役 ○ ○ ○ ○  
電話番号 000 (000) 0000

私は、(注1) A 銀行が経営の相当程度の合理化に伴う金融取引の調整を行っていることにより、下記の通り、借入れの減少が生じ、経営の安定に支障が生じておりますので、中小企業信用保険法第2条第5項第7号の規定に基づき認定されるようお願いいたします。

記

- 金融機関からの総借入金残高のうち、A 銀行からの借入金残高の占める割合  
(指定金融機関への借入依存度を見る、10%以上であること) 50% (A/B)  
A 令和1年 5月 1日の A 銀行からの借入金残高 1,000,000 円  
B 令和1年 5月 1日の金融機関からの総借入金残高 2,000,000 円
- A 銀行からの借入金残高の減少率 16.6% ((D-C)/D × 100)  
(指定金融機関からの直近の借入残高が前年同期比で10%以上減少していること)  
C 令和1年 5月 1日の A 銀行からの借入金残高 1,000,000 円  
D 平成30年 5月 1日(Cの前年同期を記入のこと)の A 銀行からの借入金残高 1,200,000 円
- 金融機関からの総借入金残高の減少率 23.0% ((F-E)/F × 100)  
(金融機関からの直近の借入残高が前年同期に比べて減少していること)  
E 令和1年 5月 1日の金融機関からの総借入金残高 2,000,000 円  
F 平成30年 5月 1日(Eの前年同期を記入のこと)の金融機関からの総借入金残高 2,600,000 円

那商第 号

令和 年 月 日

申請のとおり、相違ないことを認定します。

那珂市長 先崎 光 印

\*本認定書の有効期間：令和 年 月 日から令和 年 月 日まで

(注1) 経済産業大臣が指定する金融取引の調整を行っている金融機関の名称を記入する。

(注2) 申請者の全ての金融機関からの総借入金残高及び○○からの借入残高が確認できる残高証明書財務諸表、借入証書等を添付してください。

(留意事項) ①本認定とは別に、金融機関及び信用保証協会による金融上の審査があります。

②市長から認定を受けた後、本認定の有効期間内に金融機関又は信用保証協会に対して、経営安定関連保証の申込を行うことが必要です。